

【フリートーク:環境シンポジウムの振り返り】

令和6年2月18日(日)に、第19回国分寺市環境シンポジウムをリオンホールで開催しました。テーマは「気候の危機をどう受け止めるか」とし、2部構成により、第1部は、東京大学 未来ビジョン研究センター 教授、国立環境研究所 地球システム領域 上級主席研究員の江守 正多(えもり せいだ)さんによる基調講演、第2部は、それを受けて、江守さん、東京都立大学 都市環境学部 都市政策科学科 教授の奥 真美(おく まみ)さん、内藤副市長をパネリストに迎えての「いま、私たちは何をすべきか」をテーマにしたパネルディスカッションを行いました。

3月17日(日)の環境ひろばのフリートークでは、その振り返りを行いました。

シンポジウムの参加者は、会場88人、オンライン参加22人の、合計108人でした。そのうち77人からアンケートの回答が得られました。回答者のうち74%が60代以上であり、回答のなかった人もほぼ同率であると仮定すると約75%が60代以上と考えられます。ほかの多くの市のイベントも若年層の参加が少ない状況であることを考えると、若者が環境問題に関心が薄いとい概には言えませんが、より多くの若年層の方が、環境シンポジウムにも関心を持っていただけるような対応が必要と思われま

振り返りでは、

- ・募集の手段を多様化して、若者の目に付きやすくなるよう工夫が必要ではないか。
- ・個別に誘うことも有効である。
- ・ワークショップなどの環境問題に関するイベントを多く開催し、若い人に環境について興味を持ってもらう機会を作ることが大切である。
- ・温暖化の問題の大きさを若い世代に認識してもらうために、学校での教育が大切である。

などの意見が出ました。

第1部の基調講演は、地球温暖化のメカニズムと社会がどの方向に向かうべきかが述べられ、大変参考になったとの意見が多くありましたが、第2部のパネルディスカッション「いま、私たちは何をすべきか」については、

- ・パネリスト達から、「いま、私たちは何をすべきか」の観点からの話をもっと掘り下げてほしいかった。
- ・国分寺市の市の具体的な施策を示してほしいかった。

などと、やや物足りなかったという感想が聞かれました。

「ゼロカーボンシティ」の実現に向け、私たち一人一人がどう行動すべきか主体的に考えることが重要であり、それを促す社会の仕組みの変化、また、行政の働きかけと後押しが欠かせませんが、まだまだ模索中であることが、凶らずも現れたと感じられます。この問題の難しさが実感させられました。



会場前で紹介した「ゼロカーボンシティに向けて」



会場後方での環境団体紹介

【「ナラ枯れ」の収束宣言ができました！】

ナラ枯れとは、カシノナガキクイムシという5mm程度の小さな虫が、ナラ菌を樹木内に持ち込みナラ菌が樹木の通水機能を止めるために枯死が起きる現象です。東京都では、令和元年頃より主に都心、多摩東部において被害が発生しました。令和2年度は1,000本、令和3年度3,200本、令和4年度5,800本となりましたが、令和5年度の新規発生は、殆どないことが確認されました。

国分寺姿見の池緑地保全地域でも令和元年度より発生、令和5年度の新規発生はありませんでした。

国分寺姿見の池緑地保全地域では、令和6年度より、樹林地復活を目指し、実生から育てた苗を移植します。

ナラ枯れは収束しましたが、今後注意すべきことがあります。

- ① 樹木は上から枯れ、枯れた樹木の枝が、今後数年、風雨により落下します。枯れたコナラ・クヌギに、ご注意ください。
- ② 枯れた樹木の根っこに、カエンタケという真っ赤な指のようなキノコが発生することがあります。食べた場合には死に至るケースがあるほか、素手で触った場合でも、炎症を起こす可能性があるとしてされています。

(東京都資料から 文責 国分寺姿見の池緑の会 白木昭憲)



カエンタケ

【令和6年度東京都の緑の取組 「みどりと生きるまちづくり」】

東京の緑を「まもる」「育てる」「活かす」施策が多岐にわたり進められますが、その中で『国分寺姿見の池緑地保全地域』では、以下のような活動を行います。

1. 生物多様性の観点を含めた取り組みの強化

国分寺姿見の池緑地保全地域には、キンランやキツネノカミソリ等希少種が9種類ありますが、これらの保全活動を行います。

2. 既存種植物の生育に害を及ぼす、キショウブ等を除去します。
3. ナラ枯れで伐採したコナラ・クヌギを補うべく、実生から育てた苗を移植します。
4. 樹林地をより良い“散策地”、“癒しの場”とすべく毎月保全活動を行います。
5. 保全地域を活かす活動として、東京都環境局・親子作業体験・クラフト行事「里山へGO！」国分寺市民優先版を7月、東京都民版を10月に開催します。詳細は、後日お知らせします。

(令和6年度東京都計画から 文責 国分寺姿見の池緑の会 白木昭憲)



キンラン



作業体験：下草刈

環境ひろばのお知らせ

4月21日(日) 午前10時～正午 市役所 書庫棟会議室(戸倉1-6-1)

『環境ひろば』は、環境(保全、回復、創造)について市民・事業者・市が自由に意見交換を行う場です。皆様のご参加をお待ちしています。

(あとがき)

国分寺市が「ゼロカーボン行動計画」を策定しました。2050年温室効果ガス実質排出ゼロに向けて本格的に歩みだす年です。私たち一人一人が主体的に取り組まなければなりません、さて、今の自分を振り返ってみると…。悶々とする毎日です。社会の仕組みを一人一人の力で変えて行く行動が求められています。(大野)

国分寺市環境ひろば 事務局

国分寺市 まちづくり部 まちづくり計画課

〒185-0012

国分寺市本町4-1-9本町クリスタルビル4階

TEL: 042-314-9005 (直通)

FAX: 042-323-9060

Eメール: machikeikaku@city.kokubunji.tokyo.jp